

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援。放課後等デイサービス りんく小祿教室		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日 ～ 2025年 3月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	1
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日 ～ 2025年 3月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の言語能力、学習意欲が向上し、対人関係でもいい学びを与えることができている。	個別でのかわりを意識し、ここに合わせた関わりや促しを心掛けています。	今に満足せず、これからも子どもたちの将来を担っているという責任感を職員全員が持つ必要がある。 また、現在取り入れていない新たな療育を職員全員で模索して取り組み続ける。
2	個々の課題に合わせた活動を提供することができている。	「やらせる。」ではなく、「一緒に楽しんで行う。」という事を心掛けています。	どんな状況でも「やられて嫌なことはしない。」という意識を職員子ども全員が持てるように、今後も事業所運営の向上につなげていく。
3	保護者の不安や困りをポジティブに変換し、児童成長のためのヒントにつなげることができている。	教室長の業務軽減を図り、職員全員のゆとりを生み出せるようにしている。	ICTをうまく活用し、今後も業務軽減できるところがないか模索して取り組み続ける。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	入所した保護者への説明が不足しているように感じる。	教室長のトーク力不足もあるが、入所手続きの時間配分を今一度見直す必要がある。	視覚化できる書類をより分かりやすくしたり、必ず契約一か月後に面談を設け、すり合わせや不足箇所の追加説明をしたりする等して、保護者に寄り添って進めていけるようにする。
2	成長を実感している保護者と、実感できていない保護者の満足度の違いがあるように感じる。	今アンケートを答えてくれているのが100%ではないため、埋もれている不満の声があるのではないかと考える。	現状に満足することなく、保護者からの意見をより集められるようにしたい。そのためには保護者との関係構築が必須なので、イベントだけではなく日常的なコミュニケーションの充足意識し、全教室で取り組んでいく。
3	職員の離職率が上がっているため、職員全体の満足度も低下していると考え。	子どもたちの成長を促すだけでなく、職員の働き方改革をうまく進められなかった部分と、教室長の意識改革を進めることができなかった。	職員の満足度が児童・保護者の満足度に直結していくと感じているので、すべての面で成長できる事業所づくりを目指す。